

電気通信大学 平成21年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|-------|
| 授業科目名 | 経営システム工学基礎A | | |
| 英文授業科目名 | Introduction to Industrial and Systems Engineering A | | |
| 開講年度 | 2009年度 | 開講年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 専門科目-学科専門科目-選択必修科目 | | |
| 開講学科・専攻 | システム工学科 | | |
| 担当教官名 | 松井 正之 | | |
| 居室 | 西5-505 | | |

| | |
|---------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| matsui@se.uec.ac.jp | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>本講義は、約百年の歴史をもつ経営システム工学の基礎としてのマネジメント入門である。最近のマネジメントは、インターネットとパッケージに大きく依存しつつあり、ますます情報システム化しつつある。</p> <p>講義の理解を容易にするために、3M&Iシステムをもとにその個別システム/モデルやマネジメント手法の解説が中心となるが、その根底にあるマネジメントに対する科学的考え方を十分に理解してほしい。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 特になし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 特になし |

| |
|---|
| 【教科書等】 |
| <p>教科書：</p> <p>松井・由良共著「基礎経営システム工学」共立出版</p> <p>参考書：</p> <p>荻原洋太郎「経営システム工学」中央経済社</p> <p>日下泰夫「経営工学概論」中央経済社</p> |

松井正之「生産企業のマネジメント—利益最大化と工場理学」共立出版

M. Matsui, "Manufacturing and Service Enterprise with Risk: A Stochastic Management Approach," Springer

【授業内容とその進め方】

教科書に従って、以下の目次を進める。

第I部 序論

1. 工学と経営

技術者とマネジメント

2. 経営システム工学百年

2.1 経営システム工学の流れ

2.2 関連マネジメントの流れ

第II部 経営のシステム

3. 企業のシステム入門

3.1 企業システム概要

3.2 財務/会計モデル

3.3 組織/環境モデル

4. 生産のシステム基礎

4.1 生産システム概要

4.2 生産/在庫モデル

4.3 品質/保全モデル

5. 作業のシステム基礎

5.1 作業システム概要

電気通信大学 平成21年度シラバス

5.2 動作 / 方法モデル

5.3 時間 / 測定モデル

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

テキストの予習が望ましい

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

数回のレポートと期末試験の結果に、出席日数を考慮して総合的評価を行う。評価基準は、経営の分割単位とその評価・設計の理解により、経営システム全体について説明できることとする。レポートと期末試験の評価割合は、3対7である。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが、適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

本講義は、技術者のためのマネジメント入門でもある。コスト感覚のわかるシステム技術者や経営管理者になるための必要事項について講述するので、全員の履修が望まれる。

【その他】

特になし